

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 38

2011年2月15日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大産学連携広報より、お知らせやイベント情報をお届けします。
<http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>からもご覧いただけます。

★今回の“静大ラボ紹介”は、石原進先生です。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. JST 研究開発支援制度説明会（静岡市、浜松市）のご案内
2. 「メディカルイノベーションフォーラム2011」のご案内
3. 浜松・東三河地域「第4回CES研修会」のご案内
4. 「近未来の自動車・交通システムシンポジウム」のご案内
5. 制御系組込みシステムアーキテクト養成プログラムの受講者募集
6. はままつデジタル・マイスター養成プログラムの受講者募集

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

1. JST 研究開発支援制度説明会（静岡市、浜松市）のご案内

JSTの研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）は、社会経済や科学技術の発展、国民生活の向上に寄与するため、大学や公的研究機関等の優れた研究成果の実用化を通じた、イノベーションの効率的・効果的創出を目的とした技術移転事業で、本年は2月中旬ごろに募集が始まります。

そこで、A-STEPを中心としたJSTの研究開発支援制度説明会を開催します。多数の皆様のご参加お待ちしております。

■JST 研究開発支援制度説明会（静岡市）

日時 2011年2月18日 17:00～（終了後に個別相談・情報交換）
会場 静岡大学 総合研究棟4階大会議室（414室）
（静岡県静岡市駿河区大谷836）

■JST 研究開発支援制度説明会（浜松市）

日時 2011年2月21日 17:00～（終了後に個別相談・情報交換）
会場 静岡大学 イノベーション共同研究センター1階
カンファレンスルーム（静岡県浜松市中区城北3-5-1）

主催 静岡大学イノベーション共同研究センター、静岡TT0、
東海iNET、JSTイノベーションサテライト静岡

参加費 無料

詳細/申込 <http://stto.jp/>

問合せ先 静岡技術移転合同会社（静岡TT0）

TEL 053-478-1708 E-mail ip-leaf@stto.jp

2. 「メディカルイノベーションフォーラム2011」のご案内
～JST地域産学官共同研究拠点整備事業～

日時 2011年2月22日（火）14:00～19:30
会場 グランドホテル浜松 2階 孔雀の間
主催 静岡県、浜松医科大学、浜松地域テクノポリス推進機構

共催 静岡大学ほか

内容

- 基調講演「中小企業のものづくり技術で医療分野に貢献する
～東京・大田区の事例～」
(財)大田区産業振興協会産学連携コーディネーター 小澤茂幸氏
- 「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点事業」の紹介
はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 研究統括 山本清二氏
- パネルディスカッション
「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」をいかに活用するか
～メディカルイノベーションに向けて～

○情報交換会

参加費 無料 (情報交換会は3,000円/1名です)

申込期限 2011年2月18日(金)

詳細/申込 http://www.net-hamamatsu.jp/modules/piCal/index.php?smode=Daily&action=View&event_id=0000008050&caldate=2011-1-25

問合せ (財)浜松地域テクノポリス推進機構
TEL 053-489-8111 FAX 053-450-2100
E-mail hato@hamatech.or.jp

3. 浜松・東三河地域 『光・電子技術イノベーション創出拠点』 「第4回CES研修会～CDの地域力向上編～」のご案内

※CES研修会は、本地域が進める「地域中核産学官連携拠点」
事業の中のコーディネータエコシステム部会が開催しています。

日時 2011年3月1日(火) 9:30～12:15

会場 アクトシティ浜松コンgresセンター43・44会議室

内容

- ① 研修セミナー
『当地域における自動車部品業界の現状と展望』
財団法人静岡経済研究所 主任研究員 川島康明氏
- ② 研修講話
『コアコンピタンスと顧客価値創造を意識した
コーディネーター力の革新』
元 日本能率協会 事業戦略コンサルタント 橋詰徹氏
- ③ 当事者研修 22年度レビュー
『浜松・東三河コーディネーターに見えてきた
課題と今後への姿勢』

対象 CES部会長 藤田武男
浜松・東三河地域において産業支援に関わるコーディネータ
ーならびにその関係者

参加費 無料

定員 140名

申込期限 2011年2月25日

詳細/申込 http://www.net-hamamatsu.jp/modules/piCal/index.php?action=View&event_id=0000008090

問合せ (財)浜松地域テクノポリス推進機構
TEL 053-489-8111 FAX 053-450-2100
E-mail kyoten@hamatech.or.jp

4. 「近未来の自動車・交通システムシンポジウム」のご案内 ～地域社会と人のための産学連携～

日時 2011年3月1日(火) 13:30～17:00

会場 アクトシティ浜松 コンgresセンター31会議室

主催 静岡大学工学部、情報学部、電子工学研究所
内容

- 基調講演「未来技術と産業は独創と創造の力」
(財)浜松地域テクノポリス推進機構 理事長 津田紘氏
- プロジェクトグループ講演
 - 機械・材料G 「CFRPの成形加工とリサイクル技術」
 - 電池G 「高エネルギー密度を有する
全固体リチウムイオン二次電池の開発」
 - 送電G 「走行中の電気自動車へのワイヤレス送電
～エネルギーと情報通信の融合～」
 - 情報通信G 「車車間通信を活用したドライバー間
コミュニケーションによる交通情報の共有」
 - 電力制御G 「学生による電動フォーミュラカーの設計製作」

参加費 無料

詳細/申込 <http://hama.shizuoka.ac.jp/articles/view/4d522e14-03c0-4736-adae-3890a32ba0c4>

問合せ先 静岡大学工学部企画係 TEL 053-478-1757

5. 制御系組込みシステムアーキテクト養成プログラムの 2011年度前期受講者募集

静岡大学情報学部組込みシステムアーキテクト研究所では、2011年度前期「制御系組込みシステムアーキテクト養成プログラム」受講生を募集いたします。

本プログラムの目的は、個人の経験に依存した組込みシステム開発から脱却し、ソフトウェア工学と制御技術の基本を深く理解し、実践に応用できる技術者（システムアーキテクト）を育成することです。

そのため、制御技術とソフトウェア工学の基礎を固め、さらにシステムの分析、設計から構築までの一連のプロセスを合宿形式で実習する養成プログラムを用意いたしました。合宿形式の実習では、講師や仲間との徹底的な議論と実践を通して学習します。こうした深い議論の経験を経た技術者が、御社の事業の大いなる飛躍につながるものと確信しております。

前期プログラム受講申し込み締切 2011年2月25日

主催 静岡大学、浜松市

日程 [1] ソフトウェア工学基礎コース

(2011年4月21日～4月23日)

(2011年5月12日～5月14日)

[2] 制御技術基礎コース (2011年5月26日～5月28日)

(2011年6月9日～6月11日)

[3] 制御系組込みシステム実践演習コース

(2011年6月23日～6月25日)

(2011年7月7日～7月9日)

(2011年7月21日～7月23日)

(2011年8月4日～8月6日)

* 全日程2泊3日(木・金・土)の合宿形式です。

会場 静岡大学情報学部研修室(浜名湖国際頭脳センタービル内)

宿泊】商工会議所福利研修センター(株)キャリアック

受講対象者

本プログラムは、チームで取り組む演習を中心とした実践的教育プログラムとなります。そのため、原則として以下の条件を満たせる方を対象としております。

- (1) 3年程度以上の実務経験があり、勤務先企業から受講の許可を受けた方で、全ての日程に参加できる方。

(2) 次の基礎知識または経験がある方。

- コンピュータの基本操作（タイピング、テキストエディタの操作、ファイル操作、コマンド操作）
- 3年程度以上のCあるいはC++言語のプログラミング経験
 - ・C言語の基礎知識（構造体、ポインタなど）
 - ・アルゴリズムの基礎知識（配列操作、検索、ソートなど）
- 数学I・A, II・B（数列・ベクトル）を学習したことのある方（プログラム中で、ニュートンの運動方程式（ $[質量] \times [加速度] = [力]$ ）をベースにした制御対象のモデル化を紹介しませう）

募集人数 15名程度
受講料 無料（宿泊費、昼食代は実費負担となります。）
詳細/申込 <http://architect.inf.shizuoka.ac.jp/>
問合せ 静岡大学情報学部組込みシステムアーキテクト研究所
TEL/FAX 053-478-1577
E-mail architect@inf.shizuoka.ac.jp

6. はままつデジタル・マイスター養成プログラムの受講者募集

※本プログラムは、
3D-CAD・CAM・CAE・CATを活用して企画・開発・設計から製造技術までを一貫して構築できる“ものづくり”の総合的能力を有する人材『はままつデジタル・マイスター』の養成を目的としています。

主催 静岡大学工学部、はままつ産業創造センター
日程 ①板材成形コース（2011年4月13日～12月17日）予定
②鍛造コース（2011年4月13日～12月17日）予定

応募資格
・浜松地域の製造企業において、板材成形又は鍛造の技術開発あるいは生産技術開発を専門とする者で、5年間程度の実務経験を有する技術者
・デジタルエンジニアリングを身に付けたいと考えている方

募集人員 ①板材成形コース：7名
②鍛造コース：7名
受講料 各コースとも 100,000円/名
出願期間 2011年2月1日（火）～2月28日（月）
詳細/申込 http://www.eng.shizuoka.ac.jp/digital_meister/application.html
問合せ はままつ産業創造センター
TEL 053-452-5334 FAX 053-452-5332
E-mail network@hamatech.or.jp

《 静大ラボ紹介 -23- 》

創造科学技術大学院インフォマティクス部門 石原進准教授
<http://www.ishilab.net/index.html>

携帯電話の高機能化やスマートフォンの普及に伴い、今や私達はいつでもどこでも情報やデジタルコンテンツを入手できるようになりました。しかし、移動しながらの携帯端末通信で快適なコンピューティング環境を提供するには、様々な技術と工夫が必要になります。

石原先生は、このような無線移動体環境を前提としたネットワークシステムの研究をしています。

例えば、道路上での自動車間の運行情報・事故情報・沿線情報の交換

に応用できる情報共有システム“SOLA”。複数の携帯端末で通信回線を共有することにより通信速度や安定性の向上を図る方式“SHAKE”。大規模な工場や農場における品質管理等での利用に期待されているセンサネットワークの長寿命化など。国内外で積極的に研究発表や産業界との連携もされている先生です。

モバイルコンピューティングの更なる利便性向上と移動性・携帯性を活かしたシステムの実用化に向け、先生の研究の進展に期待が高まります。
(記：プロジェクト企画管理部門 関雄二)

《 みんなのコラム -37- 》

昨年4月から工学部長を仰せつかり、工学部でどんな研究が行われているかを今までとは違った観点で見渡すようになりました。工学部では実に広い分野にわたり様々な研究が行われています。最近では、多くの教員が企業との共同研究を実施するようになりましたが、まだ一部に過ぎません。もっと多くの研究が共同研究の形で産業界とつながっていくと、工学部の研究を学外に発信できてすばらしいと思います。

大学の教育と研究において、共同研究から得られるものは計り知れないものがあります。教員にとって、自分達の研究成果が実際に役立っていくことはもちろんのこと、企業の方々との議論を通して研究の新たな展開を経験することは、非常にワクワクすることです。また、共同研究が卒業研究や修士研究の一環として行われることも重要です。学生は、定期的な打合せで企業の方を前に発表し、議論に参加し、通常とは違う貴重な経験をします。まさに教育の場です。企業にとっても、学生にとっても、教員にとっても良いことづくめです。

そして、私たち教員は、同時に、10年後、20年後のシーズ作りの研究を進めており、このことが極めて重要だと思っています。

(記：工学部長 東郷敬一郎)

《 編集後記 》

今月から静岡県内で市販が始まった「キロール」は、静岡大学露無先生の研究成果による商品で、①インフルエンザ等の原因となるウイルスを粉砕 ②院内感染菌などの病原細菌を破壊 ③アレルギーの原因となる花粉を不活性化 できるスプレーです。

露無先生は、平成21年11月に静大発ベンチャー「株式会社Eu-BS」を起業し、本商品は当該ベンチャー企業の製品化です。

これからも静大の研究成果が社会で役立つ、事業化・起業化を推進していきたいと思っております。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・
配信中止のご連絡は、sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp まで
お願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション共同研究センター (IJRC)
編集：原典子
編集責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1414

Vol. 38_11.02.15

URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —
Copyright(c)2008-2011 Innovation and Joint Research Center,
Shizuoka University. All rights reserved